

おい
自然園

ニッポンヒゲナガ ハナバチ



春から初夏にかけて、さまざまな花が咲き誇ります。これからの時期はツツジやサツキの仲間が美しい時期ですが、これらの花を見ていると、時々触角がとても長く、体長1cmくらいのハチが見られます。それがヒゲナガハナバチの仲間で、神奈川県では春に2種、秋に1種が見られ、いずれの種もオスの触角がとても長いという特徴をもちます。一方でメスはミツバチなどと同じく、短い触角をもちます。

ハチの針は産卵管由来なので、オスは刺せません。この仲間は触角の長さにより、目視で雌雄が簡単に区別できるため、オスは安心して手でつかむことができます。



ツツジの蜜を吸うニッポンヒゲナガハナバチのオス

神奈川県立生命の
星・地球博物館
学芸員 わたなべきょうへい
渡辺恭平



◀ おおい自然園HP

大井町の動植物や虫、
石、自然観察会の結果
などを掲載しています。



◀ 自然NOWへの投稿

町内の身近な自然情報
をお待ちしています。
※撮影は横位置で